



白門板橋

創刊号

編集発行 中央大学学生会

東京板橋区支部

〒174 板橋区常盤台1-49-9

TEL 960-7488

1989.7.1 第1号

「白門板橋」発刊によせて

支部長 田永嘉彦

昭和63年4月24日、東京23区の地域支部としては5番目の板橋区支部が誕生し、早一年がたちました。

昭和62年12月、支部結成準備発起人会を開き、翌年の2月には結成準備会を開催し、学生会本部と連絡をとり、設立総会に向けて規約を検討、諸準備にとりかかりました。当初の秋に支部結成の予定が、気運が充実し善は急げと、準備委員の方々の中大を愛する気持ちの高まりも手伝って、極めて短期間で東京板橋区支部は順調なスタートをすることが出来ました。

このたびその事業の一端として「白門板橋」の創刊の運びとなりましたことと併せて、衷心よりお祝い申し上げます。

平成元年度の事業計画を総会で承認いただき、そのなかでも会員の拡大強化を重点施策として、現在までの会員二百二十二名に対し、百名程度の増員を考えておりますので、会員各位には、同級の友人や、地域の先輩、後輩にと拡大にご協力くださるようお願い申し上げます。

5月14日の朝日新聞「天声人語」によると、昨年11月、中央大学広報部では、資料請求の受験生に対して「ねじり鉢巻きのあなたへ」と呼びかけ「中央のことをよく知ってほしい、私たちは情報提供をいとわない、諸君の夢がかなうように」と励ましの言葉を手書きの文章をコピーして、広報誌の最新号に同封したことが受験生の心を打ったという内容でした。

これからの支部運営にも、会員の「心」と「心」をつなぐ「白門板橋」にと願っております。



第一回総会の写真が不調なので設立総会の写真に替えさせていただきました。

第一回定時総会

盛大に開催

昨年四月二四日に設立総会を開催した後、初年度の事業計画に沿って活動を続けてきた当支部は、第一回の定時総会を六月四日(日)午後六時より、板橋区立文化会館において開催した。(出席者六〇名)

田永支部長が議長となり、次に掲げる第一号議案より第五号議案までを上程それぞれ承認された。

第一号議案 昭和六三年度会務及び事業報告

四月九日 学員会観桜会 支部設立準備会の有志により多摩校舎において開催された学員会主催の観桜会に参加(七名)

四月二四日 設立総会 区立文化会館において開催(七四名) 学員会より松井副会長、阿部事務局長、練馬支部長他二名が来賓として出席、設立までの経過報告、役員選出、規約承認、事業活動の報告を行った。

五月一日 正副支部長会 事務局にて開催、常任理事会議題について。
五月一〇日 常任理事会 設立総

会出席者名簿の作成(事務局)

五月二〇日 学員会総会 ホテルニューオータニで開催された中央大
学学員会総会に支部長以下五名が出席、支部旗を授与された。

六月一〇日 正副支部長会 事業活動、役務分担について(マルニ)

六月十九日 幹事会 幹事分担編成表、支部旗披露(事務局、二五名)

七月三日 常任幹事会 支部への入会案内発送作業(事務局、一三名)

七月二四日 正副支部長会 入会状況について(事務局)

七月三〇日 正副支部長会 常任幹事会開催及び会員増強について(マルニ)

九月一日 正副支部長会 常任幹事会の議題について(事務局)

十月一日 常任幹事会 懇親会について開催日を十一月二九日に決定

(事務局、二一名)

十月九日 作業部会 懇親会案内状発送(事務局、以後数回にわたる)

十月二八日 正副支部長会 懇親

会について(事務局)

十一月二〇日 百周年祝賀会 学員会創立百周年記念式典及び祝賀会が

御茶の水カザルスホール、中央大学駿河台記念館で行われた(八名出席)

十一月二九日 支部懇親会 中央大

学駿河台記念館で開催
第二号議案 昭和六三年度収支決算
自 昭和六三年四月一日 至 平成元年三月三十一日

収入の部

科目	金額	摘要
通常会費	642,000	
63年度総会会費	820,000	
寄付金	354,934	
本部交付金	100,000	
預金利息	7	
雑収入	360	
計	1,917,301	

(六六名参加)

二月四日 常任幹事会 定時総会について(事務局)

二月一八日 正副支部長会 定時総会日時決定、六月四日とした。(事務局)

三月二九日 総務部会 決算資料作成(事務局)

懇親会

盛りあがる

総会に引続き行なった懇親会には、来賓として大学側より土屋六郎常任理事、学員会本部事務局より対馬逸雄課長が臨席し、祝辞をいただいた。また、九区選出の浜野剛菜議院議員を顧問に推挙する提案が承認された。会は和やかなうちにも賑やかに、カラオケによるのど自慢が相次いだ。昭和九年卒と五九卒のデュエットもあり、懇親の実をあげた。

欲も尽きぬまま、当支部の発展を誓いつつ、校歌、応援歌、惜別の歌を全員で斉唱し散会した。

支出の部

科目	金額	摘要
63年度総会準備費用	112,868	打ち合せ会11回分
63年度総会費用	577,600	設立総会、懇親会
通信費	176,460	
印刷費	87,365	
会議会場費	78,000	
事務所費	120,000	
事務用品費	91,496	
交際費	11,000	来賓土産4人
郵便振替料	6,850	
剰余金	655,662	
計	1,917,301	

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	140,605	剰余金	655,662
普通預金	16,107		
郵便振替口座	20,650		
郵便貯金総合口座	39,500		
郵便定期預金	320,000		
未収金	90,000		
前払金	28,800		
合計	655,662	合計	655,662

財産目録

科目	摘要	金額
現金	手許在高	140,605
普通預金	住友銀行常盤台支店No. 55673	16,107
郵便振替口座	常盤郵便局 東京2-365621	20,650
郵便貯金総合口座	同 No. 36646881	39,500
同額貯金	同 No. 36646881-1	150,000
同	同 No. 3728043	170,000
未収金	学生会本部交付金	90,000
前払金	文化会館総会予約金	28,800
合計		655,662

剰余金処分案

当期剰余金 655,662

次期繰越剰余金 655,662

以上の通り決算致します。

平成1年4月8日

支部長 田永 嘉彦 印
 会計 栗原 三郎 印
 同 須藤 通郎 印

以上支部の決算につき監査の結果、適正に且つ適法に表示していると認められた。

平成一年四月九日

同 監事 依田敬一郎 印
 秋元 平馬 印

第三号議案 平成元年度事業計画

平成元年度の事業を下記の通り企画、実施したいと存じますので、ご承認をお願い致します。
 一、会員名簿の発行 設立総会以後、加入した学員を含めた名簿を発行し

たいと存じます。

二、会報の発行 支部活動の報告、母校及び学員会の報告、会員との交流、PRの場として年一回以上発行したいと存じます。
 三、旅行会 会員間の親睦、懇親を

深めるための旅行を計画したいと存じます。(十月二日～十月二二日)

四、忘年会または新年会 総会に次ぐ会員の集まる機会として定着させるために実施したいと存じます。
 五、学員会終身会費納入の促進 中

中央大学学員会の発展を願う当支部として未加入者に呼びかけて加入を進めていきたいと存じます。なお学員会終身会費は三万円、うち半額の一萬五千元が支部経費交付金として支部に還元されますので、是非、加入をお願い致します。

六、会員の拡大 会の目的達成のため一人でも多くの方に加入して頂くよう、同期生、地域、職域などあらゆる場を通じて加入を進めていきたいと存じます。

七、観桜会への参加 平成二年四月七日学員会主催の観桜会へ来年度も積極的に参加したいと存じます。

第四号議案 東京板橋区支部平成元年度予算

科目	金額	備考
会費	750,000	3,000×250名
総会会費	350,000	5,000×70名
寄付金	100,000	
本部交付金	90,000	15,000×6名
預金利息	10,000	
雑収入	10,000	
前期繰越金	655,662	
計	1,965,662	

支出の部

科目	金額	備考
総会費	350,000	5,000×70名
通信費	400,000	
印刷費	350,000	
会議会場費	100,000	
事務所費	120,000	
事務用品	20,000	
名簿作成費	50,000	
広報作成費	80,000	
雑費	50,000	
予備費	445,662	
計	1,965,662	

第五号議案 役員補充の件

副支部長候補 牧 吉雄
 常任理事候補 猪谷 実
 同 岡田 利彦
 ※浜野剛衆議院議員を顧問に推挙

事務局便り

今まで数回のご返事の回答率は七割位で、出席の回答で当日欠席の方が一割余です。これは由々しき事で母校の名誉、中大OBの品性に係る問題で、個人だけでなく人間性を問うものですし、会運営からも重大です。次回からその方には請求書をお送り致します。また日限、時間厳守もお願い申し上げます。(色川)

学員会主催「観桜会」に参加して

中央大学が八王子に移ってから俺たちの中大はなくなつたなどと僻んでいた矢先、板橋白門会を作ろうとの呼びかけがら首をつっこみどうせ作るなら正式の学員会の支部にと愛校心が充満してきたのは、学員会主催「観桜会」に参加して多摩校舎を見学して、母校を身近に感じたからではないかと思つております。

例年4月の第2土曜日が「多摩校舎見学と観桜会」で、観光バスで送迎のサービス(帰りは新宿駅まで)懇親会は会費三千元でも内容は立派なものです。この写真の様に、学員会長の堂野先生(前列中央)と学長の川添先生(前列左隣)を囲んでの板橋支部の面々は御満悦です。これは昨年の観桜会のスナップです。

八王子のキャンパスには、学員会から寄贈した「そめい吉野」が六百本もあり、今や桜の名所となっておりますが、昨年は開花が遅れて、花のない観桜会でしたが、板橋区支部設立の年でもあり大変意義深いものでした。

でした。

本年は4月8日(土)に新装なつた駿河台記念館に集合、出発し雨の観桜会となりましたが、山梨支部では多勢で参加し、武田節を合唱するなど盛り上げていました。

支部の事業として「観桜会」に参加しますので、来年は板橋区支部が大勢で参加して、盛り上げたいと考えておりますので、4月14日(土)を今から予定に入れてくだされば幸いです。(栗山記)

※名簿の訂正
 川口正よし 邑社長の局番九六〇は九六六です。お詫びします。

